

表紙・目次等（執筆者一覧含む）

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
雑誌名	2000年に向けてのタイ経済
発行年	1995
出版者	アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00017275

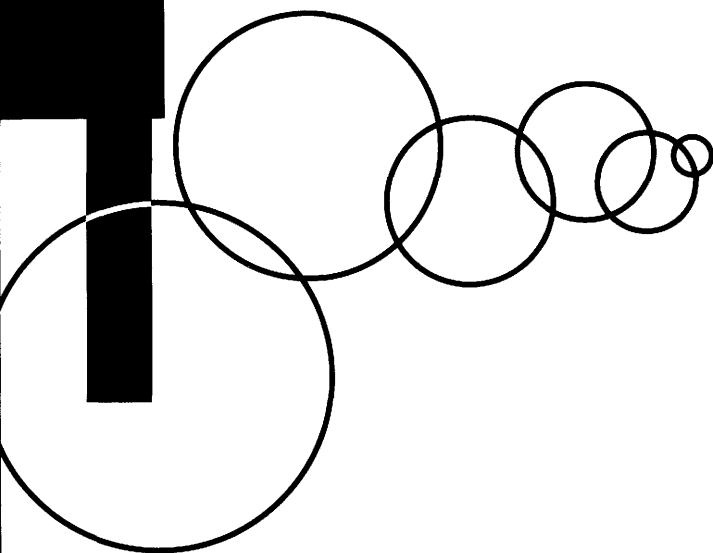
タイ
日本 共同研究



ASEAN等現地研究シリーズ
No. 25

2000年に向けての タイ経済

プラパン・サヴェタナン 編
林 俊昭



アジア経済研究所

1995

ASEAN等現地研究シリーズ

No. 25



タイ日本共同研究

2000年に向けてのタイ経済

プラパン・サヴェタナン

林 俊昭

編

アジア経済研究所

1995

2000年に向けてのタイ経済

ASEAN 等現地研究シリーズ No. 25

2000年に向けてのタイ経済

編者—— プラパン・サヴェタナン /
林 俊昭

発行所—— アジア経済研究所
〒162 東京都新宿区市谷本村町42
電話 (03) 3353-4231

印刷所—— 倉敷印刷株式会社

1995年3月30日

©ISBN4-258-20025-5 C3033

Printed in Japan

IDE

ISBN4-258-20025-5 C3033

目 次

まえがき

第1章 概 観 ————— 林 俊昭…3

- I 資源豊富国の漸進的發展指向…3
- II 経済の国際化の影響…4
- III 地域格差の拡大…4
- IV タイの政治および社会制度…5
- むすび：今後の課題…6

第2章 2000年までのタイの貯蓄・投資

ギャップ ————— ソーティトーン・マリカマート/
ティタナーン・マリカマート…9

はじめに…9

- I 過去および現在の状況…10
 - 1. 国民総貯蓄 (GNS) …11
 - 2. 国内総投資 (GDI) …12
 - 3. 貯蓄・投資ギャップ…12
 - 4. 経常収支…14
- II 2000年の貯蓄・投資ギャップ…15
 - 2000年までに貯蓄・投資ギャップに影響を及ぼす諸要因…16
 - 1. 貯蓄…16
 - (1) 国民所得の成長と輸出競争力…16
 - (2) 所得分配状況の変化…17

- (3) 金融の自由化と収益率の低下…18
- (4) 通貨供給の不安定性…18
- (5) 新しい金融システム——効率性の向上——…19
- (6) 新税制優遇措置…23
- (7) 人口構成の変化…24

2. 投資…25

- (1) 競争力および新段階の投資ブーム…25
- (2) 過剰設備および国内市場の競争激化…28
- (3) 民主化、地方分散および政治的安定…28

むすび：貯蓄・投資ギャップは本当に問題か——投資需要とタイの
リスク評価——…29

第3章 2000年に向けた工業の発展——サーマート・チアサクーン…35

はじめに…35

I タイにおける工業化と構造変換…36

- 1. 工業化の初期段階…37
- 2. 輸入代替工業化期…37
- 3. 輸出指向工業化期…38
- 4. 投資ブーム期…38
- 5. 経済グローバリゼーション下における工業化期…39

II 2000年に向けたタイ工業の将来方向…40

- 1. 製造業部門の成長率と対GDPシェアの予測…40
- 2. 地域別の工業部門付加価値の成長率およびシェアの
予測…46
- 3. 2000年に向けたタイ工業部門のリストラクチャリング…47
- 4. 2000年までに工業発展に影響を及ぼす要因…51

III 2000年に向けた工業化戦略…57

- 1. 短期的措置…58

2. 長期的措置…63

むすび：要約および結論…69

第4章 東北タイの経済開発————— プラバン・サヴェタナン…71

はじめに…71

I 東北タイ経済の諸問題…74

1. 水資源…74

2. 森林…78

3. 土壌塩分…80

II 農業の見通し…81

1. 水資源開発…82

2. 将来に向けた水資源開発…84

3. コーン・チー・ムーン・プロジェクト…84

4. 水資源開発：小規模アプローチ…86

5. 農産物…87

III インドシナ諸国の開放…91

1. カンボジア…91

2. ベトナム…93

3. ラオス…95

むすび：2000年に向けたシナリオ…96

第5章 持続可能な発展のための人的資源開発

—— 新しい労働市場情報システム

の利用————— キティ・リムサクン…99

はじめに…99

I 労働市場の成長と構造変化…101

II 半熟練および熟練労働力の供給…106

III 短期的手段としての技能開発および研修…110

- IV 組織化された労働組合による労働市場情報の伝達…118
- V 労働市場情報の改善とモニター…122
- VI 労働市場情報モニターの基本モジュール…129

第6章 社会開発の諸局面

—— 女性, 児童, 社会福祉

計画——————— チュター・マナットパイブーン…135

はじめに…135

I タイの女性の社会的地位…137

1. 女性と子供に関する社会的問題と修正福祉計画…138

II タイにおける女性と子供の開発…140

1. 教育制度…140
2. 出産と育児…141

III 女性と児童の労働力利用…143

1. 女性の労働力利用…143
2. 児童の労働力利用…144
3. 女性や児童を主な労働力として利用している産業…145
4. 女性と児童の労働力雇用に関する問題…146
5. 女性と児童の開発の傾向…151

むすび：2000年に向けてのシナリオ…153

〈執筆者一覧〉

第1章 林 俊昭

アジア経済研究所在バンコク海外調査員

第2章 Sothitorn Mallikamas, Ph. D. (Economics)

Faculty of Economics, Chulalongkorn University

Titanun Mallikamas, Ph. D. (Economics)

Research Department, Bank of Thailand

第3章 Samart Chiasakul, M. S. (Economics)

Faculty of Economics, Chulalongkorn University

第4章 Prapant Svetanant, Ph. D. (Agricultural Engineering)

Faculty of Economics, Chulalongkorn University

第5章 Kitti Limskul, Ph. D. (Economics)

Faculty of Economics, Chulalongkorn University

第6章 Chuta Manusphaibool, Ph. D. (Population & Development)

Faculty of Economics, Chulalongkorn University